

12 月 17 日低気圧に係る根室港及び周辺地域の高潮被害の追加調査（結果）

平成 26 年の標記の高潮被害について、3 研究所及び北海道開発局からなる合同調査団は同年 12 月 19 日～20 日に根室市の現地調査を実施し、既に調査結果を速報しています*。このたび、同市及び隣接地域において以下のとおり追加調査を行いました。その結果は以下の通りです。なお、本資料は速報のため、記載内容は今後修正されることがあります。

*参照先：国土技術政策総合研究所 <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/>
港湾空港技術研究所 <http://www.pari.go.jp/info/2014nemuro/1222kekka.html>
土木研究所寒地土木研究所 <http://cecere.ceri.go.jp/>

1. 調査結果

- ・既報（12 月 22 日付調査結果（速報））では、根室市の 4 地区（琴平町～本町の^{ことひらちょう}一帯、^{ほんちょう}弥生町・梅ヶ枝町・緑町の^{やよいちょう}一帯、^{うめがえちょう}西浜町及び穂香地区^{みどりちょう}）において高潮による浸水が発生していることを報告しています。また、5 地点の痕跡高さ（T.P. +1.9 m～+2.5 m の範囲）を報告しています。

今回、新たに 2 地区（幌茂尻漁港（幌茂尻地区）及び幌茂尻漁港（温根沼地区）^{ほろもしり}）で浸水が発生していることを確認し、根室市内の浸水発生地区は合計 6 地区になりました（“土地利用の無い自然地形の低湿地”等の浸水は除外しています）。両地区及び前回調査では測量できていなかった穂香地区の痕跡高さは以下の通りです（暫定値）。

- ・穂香地区（造船所建屋内） T.P.+2.5m（浸水高）
- ・幌茂尻漁港（幌茂尻地区）（民家） T.P.+2.0m（浸水高）
- ・幌茂尻漁港（温根沼地区）（漁港内建物） T.P.+2.3m 以上（浸水高）（※）
※ヒアリングをした際に得られた情報を基に測量を行いました。今後の精査により高さが若干大きくなる可能性があるため、「以上」と記載しています。
- ・西浜町、穂香地区、幌茂尻漁港（幌茂尻地区）及び幌茂尻漁港（温根沼地区）においてヒアリング、現地踏査等を行うことにより、完全にではなく情報が得られた一部の範囲に限られるものの、陸上の最大浸水範囲を把握しました。
例えば、西浜町のハッター川周辺では、河口から約 230m 上流の歩行者用橋梁の周辺まで浸水したことを確認し、浸水痕跡（道路に残された漂着物）も確認しました。
- ・標津町伊茶仁^{いちやに}海岸で海岸保全施設（護岸）が倒壊するなど、根室海峡～根室湾にかけての広い範囲で高波による被害が発生していました。

2. 調査期間

平成 27 年 1 月 8 日（木）～10 日（土）

3. 調査団（5 名）

国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷兼太郎 くまがいけんたろう

港湾空港技術研究所海洋情報・津波研究領域 領域長 富田孝史 とみたたかし

港湾空港技術研究所海洋研究領域耐波研究チーム 研究官 鶴田修己 つるたなおき

土木研究所寒地土木研究所寒冷沿岸域チーム 研究員 酒井和彦 さかいかずひこ

北海道開発局釧路開発建設部根室港湾事務所 所長 柿崎永己 かきざきえい き

4. 連絡先（代表）

国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷兼太郎

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1

TEL. 046-844-5024, FAX. 046-844-5068, E-mail kumagai-k27n@mlit.go.jp



図－1 広域図



図－2 根室市西部～中部



図－3 浸水が発生した地区と痕跡高さ（根室市中心部）



図－4 浸水が発生した地区と痕跡高さ（根室市西部）



写真－１ 造船所建屋内の浸水高さの測定
(穂香地区)



写真－２ 民家の浸水高さの測定
(幌茂尻漁港 (幌茂尻地区))



写真－３ 浸水高さ（推定）の測定
(幌茂尻漁港 (温根沼地区))



写真－４ 最大浸水位置（調査員の立つ場所）
(西浜町)



(１) 南側から見た状況



(２) 北側から見た状況

写真－５ 海岸保全施設（護岸）の倒壊 (標津町伊茶仁海岸)